

地域スポーツフェスタ実施報告

県央地域スポーツフェスタ

10月5日（土）、山口きらら博記念公園大芝生広場を会場に、『県央地域スポーツフェスタ』が開催されました。スナッグゴルフ体験会とグラウンド・ゴルフグリーンカップ大会を実施し、総勢84名が参加していました。台風が心配されましたが、当日は日焼けをするほどの好天で、参加者は綺麗に整備された芝生で思いっきり楽しんでいました。



スナッグゴルフ体験会では、山口県ゴルフ協会から3名の講師を招き、打ち方やルールなど丁寧に教えていただきました。親子での参加が多く、一緒に打ったり、教え合ったり、親子がふれあう良い機会にもなっていました。

グラウンドゴルフは、総合型クラブや地域の中でも盛んに行われている種目で、ほとんどの参加者が日頃の成果を発揮できたようです。

このグリーンカップ大会は交流をメインとしていることから、他クラブメンバーとの組み合わせにしており、参加者同士が交流できるような工夫が見られました。そして、上位



入賞者やとび賞だけでなく、ミスボ賞というクラブの会長が選出する賞や表彰されることの少ない4位には敢闘賞が用意されていました。同じようなゴルフ種目ということで、互いの種目を体験している姿も見られました。近い将来、地区やクラブの活動としてスナッグゴルフも実施されそうな予感がありました。

スポーツカーニバル 2019 下関



10月20日（日）、下関運動公園を拠点に、下関市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・下関市レクリエーション協会・下関市障害者スポーツセンターの共同で『スポーツカーニバル2019』が開催されました。こ

のイベントを実施するにあたり、下関市スポーツ振興課が中心となり、実行委員会を開催し、話し合いを重ねてきました。

講師を招いて実施したサッカースクール・バドミントン教室・ペップトーク講演会、大会形式で実施したグラウンドゴルフ・ボッチャのほか、スナッグゴルフやインディアカ、車いすなどの体験や体力チェックなど、多くの種目を実施し、延べ500名の参加がありました。さまざまな種目に参加していただけるように、スタンプラリー形式を取り入れ、実際に多くの方がいろいろなところに足を運んでいました。親子での参加が多く、子どもも大人も楽しんでいる様子が見られました。

これほどの種目数を実施できたのは、3団体が共同で実施しているからだと思います。クラブ単体では難しいことも他クラブや他団体と連携することで可能になるのではないのでしょうか。そして、行政との連携や協力があることでさらに充実した内容が実現できると感じたイベントでした。



わくわく（輪く和く）通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.30

2019年

10月



令和元年度山口県クラブマネジメント研修会 兼アシスタントマネジャー養成講習会

標記の研修会が、8月31日（土）・9月1日（日）にカリエンテ山口にて、クラブ関係者・市町担当者・スポーツ推進委員・競技団体関係者が参加して開催されました。

講師に、至誠館大学 福田教授、大分大学 谷口教授、久留米大学 行實准教授、環太平洋大学 常浦講師の4名を招き、「地域スポーツクラブとは」「地域スポーツクラブの現状」「クラブの運営・つくり方」「クラブマネジャーの役割」について講義していただきました。どの講義もグループワークが取り入れられており、様々な立場の参加者同士で話すことができ、とてもよい機会となったのではないかと思います。

事例発表では、昨年度設立した萩市の至誠館クラブ会長の高屋氏と事務局の岡崎氏に、クラブの設立から現在の活動等について発表していただきました。至誠館クラブは、至誠館大学を拠点にしており、大学教員がクラブの運営や指導に関わっていたり、大学の施設や設備を活用できたりという大きな利点があります。現在は、つばえるキッズ（体操教室）・キッズおよびシニアの英語教室・韓国語教室を定期教室として実施し、イベントとしてアーチェリー体験会や地域で運動能力測定などを行っています。今後、新たなプログラムを増やしていきたいと考えておられ、至誠館クラブがどのように発展していくかが期待されます。

2日間の研修会を通して、多くのヒントを得ることができ、これから、それぞれの立場で活かしていただけるのではないかと感じました。



総合型地域スポーツクラブのPRに行ってきました！



9月25日（水）に総合型地域スポーツクラブのPRのため、県スポーツ推進課の中尾主任がエフエム山口夕方ワイド番組「COZINESS」に出演してきました！

パーソナリティの大和良子氏と『総合型クラブとはどのようなクラブか、クラブの活動内容や会費について、クラブが取り組んでいる事業』など、Q&A形式で対談しました。

今後も多くの県民のみなさまに、総合型地域スポーツクラブの存在を知っていただけるように、PRに努めていきたいと考えています。

研 修 会 情 報

* 第6回スポーツの絆 WOMAN 和ークル

日時：2019年11月9日（土）
13:00～16:30
場所：カリエンテ山口（山口市）

* 第2回地域スポーツ指導者養成事業 YAMAGUCHI ACP ブラッシュアップ研修会

日時：2019年11月30日（土）
10:00～16:30
場所：COCOLAND（宇部市）

* 第2回創設・育成研修会

日時：2019年12月6日（金）
13:00～15:00
場所：小郡ふれあいセンター（山口市）

* スポーツリーダー養成講習会

日時：2019年12月7日（土）・8日（日）
9:00～17:30
場所：カリエンテ山口（山口市）

人がつながる 人でつながる 人がつくる



総合型地域スポーツクラブが量より質の転換を求められています。地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人… このコーナーでは、各コーディネーターがインタビューをして、人を紹介していきます。

今宿スポーツクラブ 会長 ト部 巧氏

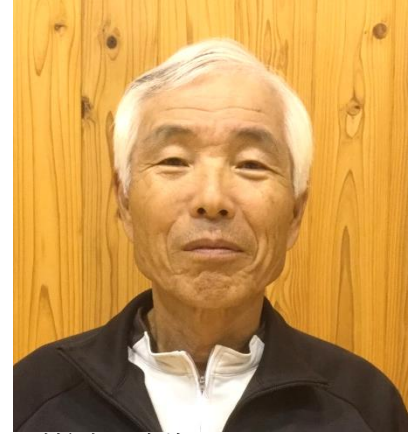
今宿スポーツクラブは、周南市の住吉中学校区を対象に、今宿小学校体育館、住吉中学校体育館、金剛山公園を使用し活動しています。今回は、会長のト部巧氏にお話をうかがいました。

クラブ設立のきっかけ

従来からあった地域内の体育振興会は、スポーツ経験者による競技志向型でした。地域内行事への参加者が減少する中で、地域住民のコミュニケーションの場として、スポーツを始めてみたい人や初心者の受け皿となるような総合型クラブの設立を目指しました。

2009年秋頃に準備委員会を立ち上げて検討を開始し、2010年4月から2012年3月の2年間、toto助成金の創設支援事業を活用し、ウォーキングやニュースポーツ、卓球やバドミントンなどのプレイイベントを開催しながら地域住民への広報活動を行いました。そして、2012年3月に今宿スポーツクラブが誕生しました。設立後も4年間はtoto助成金の自立支援事業を活用し、定期教室として、ハンドボール(小学生)・卓球・ウォーキング、イベントとして、スポーツ体験教室・釣り大会・ゴルフコンペ・ランニング教室を実施しました。

現在は、設立当時の種目にソフトバレー、バドミントン、ペタンク教室が加わっています。また、設立時に発行した広報誌『ISCニュース』は、現在も地域内全戸に配付しています。



クラブの問題・課題

卓球・ソフトバレーの参加者や小学生会員が増えていることから、活動回数増やしたいとの思いはありますが、場所を確保することが難しい状況です。また、指導者の増員も必要となります。運営するにあたっては、若手スタッフの補充が必要であり、後継者育成も課題に挙げられます。

クラブの今後・展望は？

活動の中に、けん玉やふらばーるバレーなどのニュースポーツを取り入れていきたいと考えています。また、地域情報誌等にクラブ活動の紹介や会員の募集等掲載し、周知活動を積極的に行っていきたいと考えています。

いきいき健康スポーツ教室 会長 下村 光秋氏

今回は、下関市で活動している「いきいき健康スポーツ教室の下村光秋氏」に話をうかがいました。下村氏は、昨年度会長に就任されました。

クラブの活動内容は？

毎週金曜日の午後、下関市体育館にて、健康(ストレッチ)体操・ラージ卓球・トリムバレーを実施しています。まず、健康体操を行い、その後、引き続き参加したい方がラージ卓球やトリムバレーを楽しんでいます。一番人気の健康体操は、2名の講師に指導していただき、毎回約130名が参加しています。ボールやタオルを使い、音楽に合わせて楽しく身体を動かしています。会員は、中高年齢の方が中心で、毎週金曜日は、皆でいきいきと楽しい時間を過ごしています。

クラブの問題・課題

活動場所の確保です。下関市体育館を使用していますが、市の行事や、学校の行事と重なれば使用できなくなり、その際の場所の確保に困っています。また、下関市体育館には、冷暖房設備がないため、真夏や真冬などは参加者が減少します。新たな活動場所を探してしていきたいと考えています。

今後どのようなクラブに？

会員の健康維持・増進はもちろんですが、会員同士の交流も大事だと考えています。クラブ活動で顔を合わせ話ができることを楽しみにされていたり、クラブを通じて友達になり、活動以外の場所でも交流されたりする方がたくさんいます。引き続き、会員同士の横のつながりをつくり、クラブの活性化が地域づくりにつながれば良いと思います。

いつも笑顔で対応してくださる下村会長。ご自身も体操や卓球、ランニングをされているそうです。お元気の秘訣は？と聞くと、『運動、夜の晩酌、そして夫婦円満であること』と答えてくださいました。



総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	イベント名	訪問日	訪問者
至誠館クラブ	アーチェリー体験会	令和元年 9 月 27 日(日)	岡村 睦美

昨年の 11 月に設立した新しいクラブ、「至誠館クラブ」主催のアーチェリー体験会へ行ってきました。この教室は、準備中の頃から企画・実施しています。至誠館クラブのある萩市などの県北地域では、アーチェリーを実施している団体がないということから、アーチェリーの関心を高め、至誠館クラブで教室化していきたい種目の一つであり、今回は 3 回目の開催となりました。



講師に、やまぐちジュニアアーチェリークラブの木原氏と団員 7 名を招き、午前・午後の 2 部制で行われました。初めにゴムチューブを使ってフォームの練習をした後、的に向かって撃ったり、風船割りゲームをしたりしました。小学 1 年生からシニアの方まで、幅広い年齢層の方が参加しており、その多くがアーチェリー初体験でしたが、皆さんすぐに上達していました。



参加者からは、『とても楽しかった。めったにできないことなので、貴重な体験ができてよかった。思っていた以上にかなりの労力を使って汗が出るほどだった。真ん中に当てるのが難しかった。またきっかけがあればやりたい。』などの感想があり、ニーズの高まりを感じました。

今回、講師を務めてくださいました木原氏も山口市で総合型クラブの設立を目指し活動をされています。このようにクラブ同士のつながりは総合型クラブにはとても大事ですね！

クラブ名	教室名	訪問日	訪問者
NPO 法人絆星スポーツクラブ	ニュースポーツ教室「けん玉」	令和元年 10 月 27 日(日)	岡村 睦美

NPO 法人絆星スポーツクラブ主催のニュースポーツ教室へ伺いました。この教室では、ひとつの種目ではなく、タグラグビーやキンボール、ドッジボールやふらばーるバレーなどいろいろな種目を実施しています。今回の内容は、今年度から取り入れている『けん玉』でした。日本の伝統的な遊びのひとつで、多くの方が一度は体験したことがあるのではないのでしょうか。けん玉は、子どもから大人まで老若男女問わず遊ぶことができ、認知症対策や集中力・記憶力向上、屈伸運動による足腰の強化、手と目の連動性が高まるなど、様々な観点から心と体にメリットをもたらします。トレーニングにけん玉を取り入れているアスリートも多くいるようです。



講師を務めている田中千春先生は、「あせらず、あわてず、あきらめず」挑戦する気持ち、“できた”という成功体験をとおして自信をつける、そして「いつでも、どこでも、だれとでも」楽しむことができるけん玉を多くの人に知ってもらいたいとの思いで活動をされています。



今回の教室では、大・中・小の皿に玉をせる『大皿、中皿、小皿』や、けん先を持って中皿に乗せる『ろうそく』をしたり、けん玉を使った遊びも取り入れられていたり楽しい内容となっており、参加していた子どもたちにも笑顔があふれていました。

10 月 27 日には、中央公民館ふれあいまつりの中で、けん玉の発表や体験会を実施したとのご報告もいただきました。

【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会)

TEL 083-933-4697

FAX 083-933-4699